

# 運用報告書 (全体版)

第1期<決算日2023年11月10日>

## PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券		
信託期間	2023年4月28日から2033年5月10日までです。		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。		
主要投資対象	当ファンド	投資信託証券	
	投資信託証券	ビムコ・バミューダ・インカム・ファンドAクラスSSS (USD)  DIAMマネーマザーファンド	ビムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M)  国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産
運用方法	各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、インカム・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 インカム・ファンドへの投資にかかる指図権限を、ピムコジャパンリミテッドに委託します。		
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。		
分配方針	毎決算時（毎年5月および11月の各10日（休業日の場合は翌営業日））に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。		

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「PIMCOストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジなし）」は、2023年11月10日に第1期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

**アセットマネジメントOne株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

## PI MCOストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジなし）

### ■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 純 資 産 組 入 証 券 率 総 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	
(設 定 日) 2023年4月28日	円 10,000	円 -	% -	% -
1期 (2023年11月10日)	10,933	90	10.2	97.8

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

### ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落	率	
(設定日) 2023年4月28日	円 10,000	% -	% -
4月 末	10,000	0.0	-
5月 末	10,165	1.7	98.5
6月 末	10,609	6.1	97.1
7月 末	10,454	4.5	98.4
8月 末	10,792	7.9	96.9
9月 末	10,893	8.9	96.0
10月 末	10,719	7.2	95.1
(期 末) 2023年11月10日	11,023	10.2	97.8

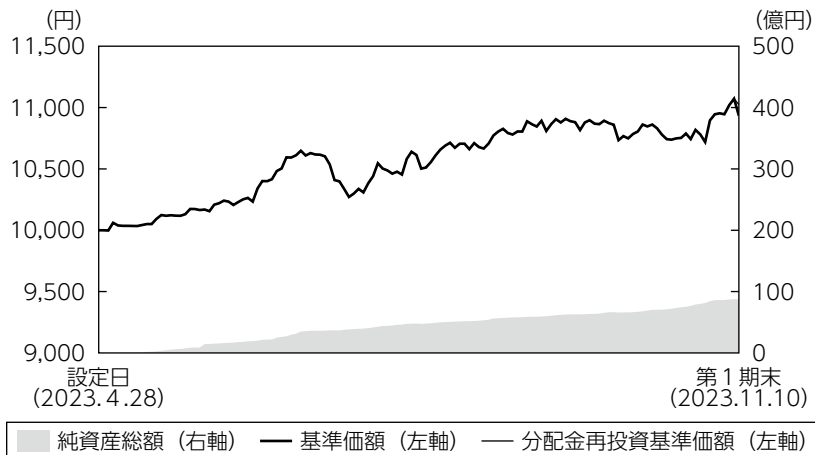
(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■当期の運用経過（2023年4月28日から2023年11月10日まで）

### 基準価額等の推移



設定日：10,000円  
 第1期末：10,933円  
 (既払分配金90円)  
 騰落率：10.2%  
 (分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

バミューダ籍外国投資信託「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD)」(以下「インカム・ファンド」ということがあります。)円建受益証券への投資を通じて、世界で発行されているさまざまな債券などに実質的に投資を行った結果、基準価額(税引前分配金再投資ベース)は上昇しました。金利上昇などが下落要因となった一方で、米ドルが対円で上昇したことなどが上昇要因となり上昇しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD)	12.3%
DIAMマネーマザーファンド	△0.0%

(注) ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 投資環境

米国国債利回りは上昇（価格は下落）しました。期初は強弱材料が交錯する中でもみ合いで推移しましたが、2023年7月中旬以降は米利上げ継続観測が高まったことなどから総じて上昇基調で推移しました。その後も、根強いインフレ圧力を背景に米金融引き締めが長期化するとの見方が強まったことなどから、一段と上昇しました。

ドイツ国債利回りは上昇しました。期前半は一進一退で推移しましたが、9月に入り、E C B（欧州中央銀行）高官から追加利上げを示唆する発言が相次いだことや、実際にE C Bが追加利上げを実施したことから上昇しました。期末にかけては、中東情勢の緊迫化に加え、10月にE C Bが政策金利を据え置いたことから上昇幅を縮小しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

米ドルは対円で上昇しました。期初から2023年6月にかけては、米金融引き締めの長期化観測が高まったことや、米債務上限問題を巡る不透明感が後退したことなどから上昇しました。7月に入り、米物価指標の伸びが鈍化したことなどから下落する場面も見られましたが、期末にかけては、根強いインフレ圧力を背景に米金融引き締めの長期化観測が再び高まったことや、日銀が金融政策の現状維持を決定したことなどから、上昇基調を継続しました。



## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

インカム・ファンドを通じて「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M) 」 (以下「インカム・ファンド (M) 」) 米ドル建受益証券を実質的に高位に組み入れました。また、D I A Mマネーマザーファンドの組み入れを実施しました。

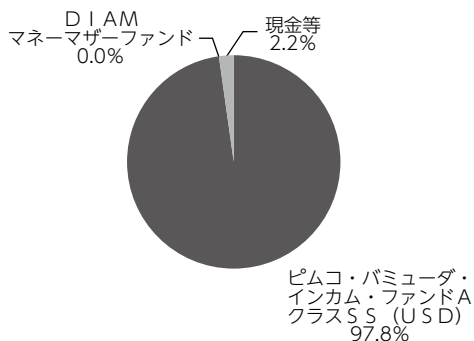
### ●ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD)

当ファンドは世界で発行されているさまざまな債券などに実質的に投資し、あらゆる市場局面において最適な資産配分を追求することで安定的な収益確保をめざしました。金利戦略では市場環境に応じ機動的に金利リスクを調整しました。セクター (債券種別) 戦略では、モーゲージ証券 (非政府系) など相対的に魅力的な利回りを有する資産へ投資したほか、リスクオフ時にも安定した値動きが期待される債券に投資しました。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## ポートフォリオ構成 (2023年11月10日現在) ※比率は純資産総額に対する割合です。



## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2023年4月28日 ～2023年11月10日
当期分配金（税引前）	90円
対基準価額比率	0.82%
当期の収益	90円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	933円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

さまざまな債券市場や為替市場および資金動向などを考慮しながら、安定した収益の確保をめざし、インカム・ファンドを通じてインカム・ファンド（M）を実質的に高位に組入れる方針です。また、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、D I A Mマネーマザーファンドの組入れを継続します。

### ●ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS（USD）

先進国では足元の景気に底堅さが見られるものの、これまでの金融引き締めによる影響が徐々に波及することで、2024年の景気は減速する可能性が高いと見ています。こうした中、投資においては引き続き慎重なリスク管理が必要と考えています。

今後の運用戦略についてはマクロ経済見通しをもとにリスクの調整を意識しつつ、高い利回りの資産への投資とポートフォリオを安定化させる低リスク資産への投資とのバランスを市場動向を見据えつつ柔軟に調整していく方針です。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

日銀は2023年10月の金融政策決定会合で、長期金利操作の運用を一段と柔軟化し、10年国債利回りの上限について1.0%を上回る水準を容認する姿勢を示しました。しかし、日銀はC P I（消費者物価指数）が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成には距離があるとしており、引き続き緩和的な金融政策を維持するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

## ■ 1万口当たりの費用明細

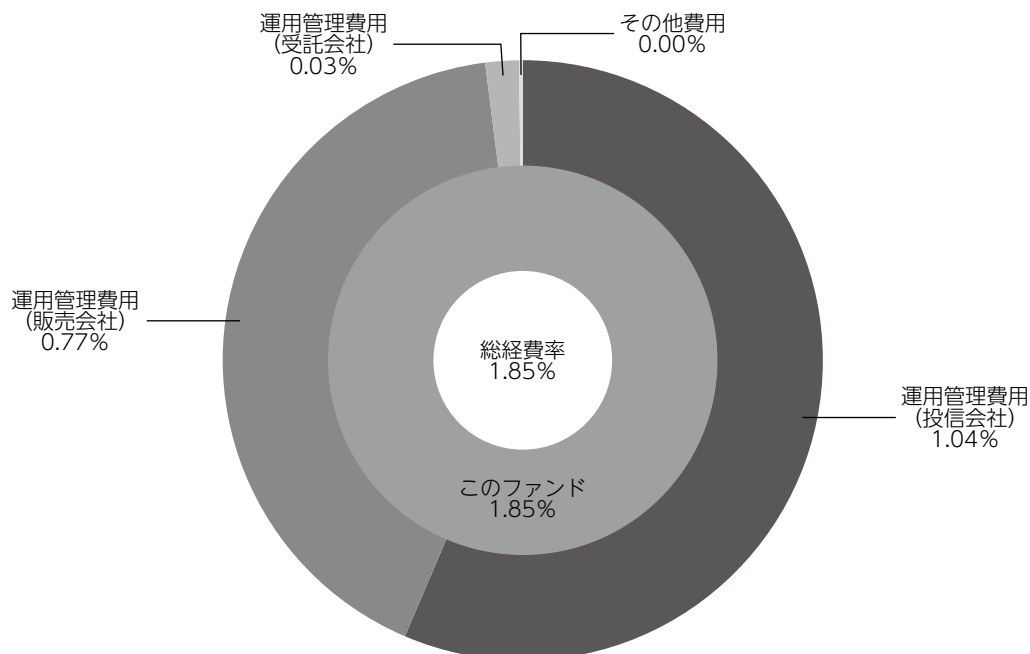
項目	第1期		項目の概要
	(2023年4月28日 ～2023年11月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	105円	0.995%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,558円です。
(投信会社)	( 59)	(0.562)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 44)	(0.414)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.018)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	105	0.996	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (①+②)	1.85%
①このファンドの費用の比率	1.85%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用および「ビムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD)」(以下「インカム・ファンド」という場合があります。)への投資の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社（ビムコジャパンリミテッド）に対する報酬（当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率0.6%（税抜））が含まれます。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率は、当運用報告書作成時点において、開示できる情報はありません。投資先ファンドの運用管理費用はありません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## ■売買及び取引の状況 (2023年4月28日から2023年11月10日まで)

投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	ピムコ・バミューダ・インカム・ ファンドA クラスSS (USD)	千口 760.5709636	千円 8,113,840	千口 -	千円 -

(注) 金額は受渡代金です。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2023年4月28日から2023年11月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
D I A Mマネーマザーファンド	1,493	1,503	-	-

## ■利害関係人との取引状況等 (2023年4月28日から2023年11月10日まで)

【P I M C Oストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジなし) における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【D I A Mマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 400	百万円 200	% 50.0	百万円 600	百万円 -	% -

平均保有割合 0.2%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1.5	百万円 -	百万円 1.5	百万円 -	当初設定時又は当初運用時における取得とその処分

## ■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千円	%
ピムコ・バミューダ・インカム・ ファンド A グラス S S (U S D)	760.5709636	8,543,493	97.8
合 計	760.5709636	8,543,493	97.8

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
	千□	千円
D I A M マネーマザーファンド	1,493	1,502

## ■投資信託財産の構成

2023年11月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,543,493	96.5
D I A M マネーマザーファンド	1,502	0.0
コール・ローン等、その他	307,697	3.5
投資信託財産総額	8,852,693	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月10日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,852,693,528円
コール・ローン等	307,697,491
投資信託受益証券(評価額)	8,543,493,634
D I A M マネーマザーファンド(評価額)	1,502,403
(B) 負 債	114,221,137
未払収益分配金	71,933,605
未払信託報酬	42,204,973
その他未払費用	82,559
(C) 純資産総額(A-B)	8,738,472,391
元 本	7,992,622,838
次期繰越損益金	745,849,553
(D) 受益権総口数	7,992,622,838口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,933円

(注) 設定当初の投資元本額は1,500,000円、当期中における追加設定元本額は8,010,162,499円、同解約元本額は19,039,661円です。

## ■損益の状況

当期 自2023年4月28日 至2023年11月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△61,367円
受 取 利 息	1,521
支 払 利 息	△62,888
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	428,998,923
売 買 損 益	429,653,634
買 入 損 益	△654,711
(C) 信 託 報 酬 等	△42,287,532
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	386,650,024
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	431,133,134
(配 当 等 相 当 額)	(△228,723)
(売 買 損 益 相 当 額)	(431,361,857)
(F) 合 計(D+E)	817,783,158
(G) 収 益 分 配 金	△71,933,605
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	745,849,553
追 加 信 託 差 損 益 金	431,133,134
(配 当 等 相 当 額)	(△228,731)
(売 買 損 益 相 当 額)	(431,361,865)
分 配 準 備 積 立 金	314,777,905
繰 越 損 益 金	△61,486

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限を委託するために要する費用は、当期は15,073,246円で、委託者報酬から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	386,711,510
(c) 収益調整金	431,361,865
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	818,073,375
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,023.54
(g) 分配金	71,933.605
(h) 1万口当たり分配金	90

## ■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金

90円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA

## クラスSS (USD)

当ファンドは、「PIMCOストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジなし）」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	バミューダ籍外国投資信託／円建受益証券
主 要 投 資 対 象	「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド（M）」を通じて、世界のさまざまな債券に投資を行います。
投 資 態 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド（M）」を通じて、世界のさまざまな債券などに投資を行い、市場環境に合わせて機動的に投資比率を変更することで長期的な収益の獲得およびインカム収益の最大化をめざします。</li> <li>・クラスSS（USD）では、為替ヘッジは行いません。</li> </ul>
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ポートフォリオの実質的なデュレーションは原則0年～8年の間とします。</li> <li>②非投資適格債券への実質投資割合は総資産の50%以内とします。ただし、資産担保証券およびモーゲージ証券についてはこの限りではありません。</li> <li>③新興国債券への実質投資割合は総資産の20%以内とします。</li> <li>④流動性に欠ける資産への実質投資割合は総資産の15%以内とします。</li> </ul>
受 託 会 社	メイプルズ・トラスティ・サービシーズ（バミューダ）リミテッド
投 資 顧 問 会 社	パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー
管理事務代行会社兼保管受託銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー

※なお、現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示できる情報はございません。

# D I A M マネーマザーファンド

## 運用報告書

第14期 (決算日 2023年4月5日)

(計算期間 2022年4月6日～2023年4月5日)

D I A M マネーマザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
	期騰	期中落率				
10期(2019年4月5日)	円	%	%	%	%	百万円
11期(2020年4月6日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167
12期(2021年4月5日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	1,139
13期(2022年4月5日)	10,080	△0.1	62.4	—	—	1,064
14期(2023年4月5日)	10,071	△0.1	76.3	—	—	1,192
14期(2023年4月5日)	10,063	△0.1	71.8	—	—	1,253

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

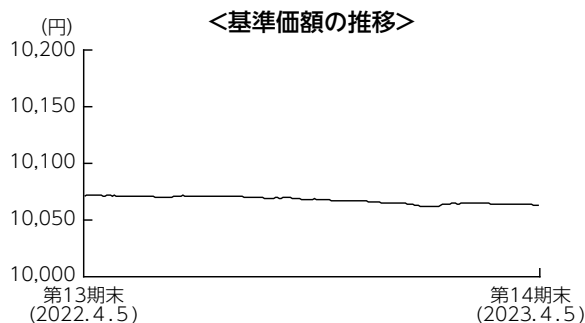
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 ( 転 換 社 債 ) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2022年 4 月 5 日	10,071	% -		% 76.3		% -	% -
4 月 末	10,071	0.0		76.3		-	-
5 月 末	10,071	0.0		76.3		-	-
6 月 末	10,071	0.0		75.5		-	-
7 月 末	10,071	0.0		75.5		-	-
8 月 末	10,069	△0.0		75.5		-	-
9 月 末	10,068	△0.0		75.5		-	-
10 月 末	10,067	△0.0		75.6		-	-
11 月 末	10,065	△0.1		75.9		-	-
12 月 末	10,062	△0.1		75.9		-	-
2023年 1 月 末	10,064	△0.1		75.3		-	-
2 月 末	10,064	△0.1		75.3		-	-
3 月 末	10,063	△0.1		71.8		-	-
(期 末) 2023年 4 月 5 日	10,063	△0.1		71.8		-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■当期の運用経過（2022年4月6日から2023年4月5日まで）



### 基準価額の推移

当期末の基準価額は10,063円となり、前期末比で0.1%下落しました。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いましたが、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

## 投資環境

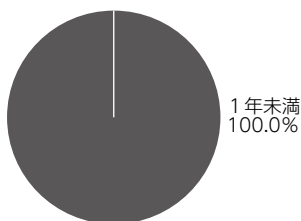
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

## ポートフォリオについて

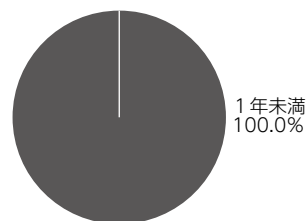
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

### ○残存年限別構成比 期首（前期末）



### 当期末



## 今後の運用方針

2023年4月9日に黒田日銀総裁の後任として植田和男氏が日銀総裁に就任しますが、新体制発足後も急速な金融引き締めは見込みにくく、金融政策は緩和的な状態を維持するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。



## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2022年4月6日から2023年4月5日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	901,029	(910,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2022年4月6日から2023年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期 区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
金銭信託	百万円 0.028	百万円 0.028	%	百万円 0.028	百万円 0.028	%
		100.0				100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

## ■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	900,000	900,426	71.8	—	—	—	71.8
合 計	900,000	900,426	71.8	—	—	—	71.8

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
4 2 4 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	200,000	200,020	2023/05/01
4 2 6 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	200,000	200,090	2023/07/01
4 2 7 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	200,000	200,102	2023/08/01
4 2 9 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	200,000	200,140	2023/10/01
4 3 0 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	100,000	100,074	2023/11/01
合 計	—	900,000	900,426	—

## ■投資信託財産の構成

2023年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%	千円	%
	900,426	71.8	900,426	71.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	353,089	28.2	353,089	28.2
投 資 信 託 財 産 総 額	1,253,515	100.0	1,253,515	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

# ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,253,515,428円
コ ー ル ・ ロ ー ン	353,078,860
公 社	900,426,000
未 収 利 息	10,144
前 払 費 用	424
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,253,515,428
元 本	1,245,658,613
次 期 繰 越 損 益 金	7,856,815
(D) 受 益 権 総 口 数	1,245,658,613口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,063円

(注1) 期首元本額	1,184,299,773円	みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
追加設定元本額	67,418,522円	マシュエズ・アジア株式ファンド	29,641,137円
一部解約元本額	6,059,682円	One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
(注2) 期末における元本の内訳		One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,843,407円	One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,867,169円	世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,088,285円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	98,095円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,959,763円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	989,197円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	494,102円	ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	494,102円	リスクコントロール世界8資産/バランスファンド (F OF S 用) (適格機関投資家専用)	27,831,876円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	48,517円	期末元本合計	1,245,658,613円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	11,377円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	98,027円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	494,102円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円		
クルーズコントロール	990,000,991円		
リスク抑制世界8資産バランスファンド (DC)	39,586,646円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円		
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円		
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円		
DIAM・ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円		

## ■損益の状況

当期 自2022年4月6日 至2023年4月5日

項	目	当 期
(A) 配 当 等 収 益		276,679円
受 取 利 息		389,729
支 払 利 息		△113,050
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益		△1,274,900
売 買 損 益		△1,274,900
(C) 当 期 損 益 金(A+B)		△998,221
(D) 前 期 繰 越 損 益 金		8,464,251
(E) 解 約 差 損 益 金		△40,693
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金		431,478
(G) 合 計(C+D+E+F)		7,856,815
次 期 繰 越 損 益 金(G)		7,856,815

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。